学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1	自己点検・自己評価項目総括			
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3	教育理念・目的・育人人材像は、明文化・文章化されており、会議や研修等においては、これらを用いながら行うことで理念等の普及・徹底を実現している。また、マーケティングとイノベーションにより、社会の新たな人材ニーズと見出し、育人人材像として明確化して新学科の創設やカリキュラム変更を行っている。理念等の実現のため、目標、事業計画などは、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会において、広く意見を聞き、適宜見直しを行っている。	【建学の理念】 ①実学教育…卒業後、即戦力となる専門的な知識・技術(テクニカルスキル)を身につける。 ②人間教育…いかなる職種でも必要なプロとしての身構え、気構え、心構えを持った職業人を養成する。 ③国際教育…在学中からコミュニケーション言語としての英語、および専門英語を身につけるばかりでなく、より広い視野でモノを捉える国際的な感性を養う。 【4つの信頼】 ①学生保護者からの信頼②業界からの信頼③高等学校からの信頼④地域からの信頼を大切にしている。また、これら理念を文章化した「滋慶語録」という冊子に沿って研修等で理念の確認を行っている。	2.9	理念目的がしっかり定められており、定期的に会議・委員会が開催されている。今後も人材育成に尽力してもらいたい。
	1-1-2 育人人材像は業界等の人材ニーズ像に適合しているか。育成に関連業界の協力を得ているか。	3	教育課程編成委員会や業界講師面談、業界訪問等により、業界が求める人材像を明確にするとともに、教育課程・授業計画等策定に活かしている。 また、各学科における法定実習等について、2021年度は学内実習に切り替えて実施した学科もあった。その際にもオンラインでコメントを頂くなど業界の皆様と協力していただきました。	【教育課程編成委員会】 2021年度は各学科ごとに日程を設置し、実施した。 【実習指導者会議】 学生受け入れていただく実習先の職員に参加してもらい、実習の目的等を理解してもらった会議。学生も参加して実施している。(ST科)	2.9	他大学の看護学科も多く存在し競争も多いが、社会ニーズは益々多くなると考える。今までにない科を増やす事はチャレンジになるが、病院で一番求人が多い職種でもあるため、たくさんの卒業生を社会へ出すことを期待している。
	1-1-3.4 理念の達成、業界ニーズに適合する将来構想を抱いたうえでの教育活動に取り組んでいるか。	3	産学連携教育を重点に置き、学校と業界と協力して人材育成に取り組んでいる。 学校のイノベーションは5か年で計画しており、事業計画に記すのと同時に教職員研修、講師会議等でも将来構想について周知している。	【看護学科の設置計画】 2022年度看護学科を開講し、医療教育の中核を担えるような学校にしていく計画である。 【産学連携教育】 現場実習や企業との共同研究など、産業界と連携した教育を行っている。そのことで環境変化にも耐えうる人材を育成している。	2.9	

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【阿部 健】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
2 学校運営	2-2-1 運営方針は定められ、教職員に周知・浸透されているか	3	5か年先を見据えた運営方針は事業計画として記載されており、学校運営会議、法人常務理事会、法人理事会、法人評議員会の決議を受け、承認を得ている。 また、事業計画は毎年3月初旬に行うスタート研修で、組織目的、運営方針、目標、実行計画、役割など全教職員へ周知徹底している。	【2021年度運営方針】 ①「楽しい授業」「新しい学び」を創造し続ける。 ②授業含め「正直で等身大の価値」を伝える広報を展開する。 ③コンプライアンスを強化し、適切な運営を実現する。	2.9	
	2-3-1 事業計画は理念等を達成できるよう定められているか	3	事業計画は建学の理念、4つの信頼をベースにしたうえで、各学校の目指す方向性を示している。また事業計画は学校での運営会議、本部での戦略会議を経て、法人理事会と法人評議会によって承認されており、計画そのものに理念との乖離がないかの確認が行われている。	【運営会議】 月に2回行われる学校での会議。役職者で学校の意思決定を行う。 【戦略会議】 本部で月に1回行われる会議。常務理事と本部長によって構成されている。	2.9	
	2-4-1.2 理事会は適切に開催されているか。また、運営組織や意思決定機能は体系化され、効率的なものになっているか	3	理事会は年4回実施されており、学則や寄付行為の変更等の承認を受けており、議事録は関係部署に公開されている。 運営組織は、実行計画の最適化の観点から毎年見直されており、本部含めた全体像は、事業計画書の組織図に示されている。	【2021年度 運営組織】 国家資格系学部と非国家資格系学部として組織を編成している。それぞれの学部には共通した課題があり、学科を越えて情報共有できる組織としている。	2.9	
	2-5-1 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	職員採用にあたっては、学校だけではなく学園本部においても部署を配置し、採用広報、採用試験、研修を実施している。 賃金については、目標管理制度を基本とし、これと対応して成果主義を取り入れた賃金制度を設けている。	【目標管理制度】 目標の達成度は本人評価⇒上長評価⇒学校責任者評価と3段階で実施される。また、数値で評価できない業務についてはプロセス評価も導入しており、上長の評価は本人と面談をしたうえで決定する。その評価についての妥当性は運営会議にて全マネージャーで決定をし、評価に矛盾の無いようにしている。最終評価は、本部の戦略会議でグループ校すべての結果を踏まえて承認される。	2.9	
	2-6-1 意思決定システムは確立されており明確になっているか。	3	意思決定システムは事業計画に含まれており、それぞれの会議の位置づけ・目的についても明記されている。また会議日程も年間で決めており、出席者は年度当初にスケジュール調整を行っている。	【会議】 ①理事会②拡大常務会③戦略会議④運営会議⑤全体会議⑥部署別会議 ※上記以外に、TBM(ツールボックスミーティング)を重視している。 ※TBMは定例会議まで待てない懸案事項について即時、利害関係者を招集し協議決定にあたる場である。	2.9	
2-7-1 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	学園全体で共通の業務システムを使用しており、入学希望者や在校生、求人情報などの情報管理を行っている。 2021年度はコロナ対策で遠隔授業と対面授業の両方を行った。様々なICTツールを活用して授業を行ったが、当初は授業撮影や配信に手間がかかっていたが過度な残業をせずに授業実施ができるようになった。	【業務システム】 広報システム、教務システム、学費システム、就職システムがあり、常勤職員はこのシステムを通じて情報共有できる。 【遠隔授業のツール】 Teams、ZOOM、Moodle、YouTubeなど ※次年度は、Teamsを学園全体で導入予定。	2.9		

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
3 教育活動	3-9-1.2 教育の目標・目的に沿った教育課程を編成し外部の意見も反映しているか。	3	教育課程は、教育課程編成委員会や業界訪問などにおいて、環境変化と業界ニーズを踏まえて作成している。また、教育課程は毎年見直され、運営会議で承認を受けることにしている。	2021年度の教育課程編成委員会は来校とオンラインで実施した。	3	今後もしっかりと業界のニーズを把握し教育内容等の工夫をお願いしたい。現場で活躍する学生育成に期待したい。 アンケートなど現場の意見が良くフィードバックできる体制が取れている。 大変良い取り組みが多く素晴らしいと思う。
	3-9-3 キャリア教育を行なうために教育内容等の工夫をしているか。	3	キャリア教育ロードマップを作成して指導の方向性を示している。 また教職員はキャリア教育に関する指導・支援について、研修を受講している。	【学生サポートハンドブック】 ①教職員カウンセリング研修、②進路アドバイザー研修、③キャリア教育カウンセラー研修で構成されている学園独自の教育マニュアル。教職員は、この冊子を基に研修を段階的に受講する。 また、2021年度より学生便覧にキャリア教育の機会の見えるようなページを追加した。	3	
	3-9-4 授業評価を実施し、授業改善に活用しているか。	3	前期・後期の各1回、学生に授業アンケートを実施している。 この授業アンケートの結果とオープン授業(公開授業)を通して、各講師の専門性の把握及び評価を行い、フィードバックを行うことで改善を促している。 授業の改善、改革の推進は講師にも浸透し始め、アンケートを基に表彰を行っている。	【教育改革プロジェクト】 授業の改善、改革を推進すると共に、講師アンケートの分析や公開授業の運営を主体するプロジェクト。 【講師会議】 年2回実施している非常勤講師向けの会議(研修)で、評価の高い講師の授業の取り組みなど水平展開できるように実施している。	3	
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確にしているか。	3	単位履修、成績評価については、学生便覧に学則施行細則として明記し、全学生に説明している。また教務会議、卒業進級判定会議などにおいて、成績評価、単位履修についての共通認識を確認している。	入学時、進級時に担任より、学生便覧の読み合わせを行い説明をしている。 また、最初の定期試験前には、担任より再度説明を行っている。 保護者へ向けには保護者会で説明を行っているが、成績表発送時にも成績評価・終了認定基準を文書化したものを同封している。	3	
	3-10-2 学生の受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	学生の授業や研究発表、実績については担任を通じて全体集約しており、研究内容によっては卒業時に表彰している。	【主な表彰】 理事長賞、学校長賞、東京都専修学校各種学校協会会長賞、医療秘書技能検定会長賞、医事コンピュータ技能検定会長賞、日本語聴覚士協会会長賞、全国リハビリテーション学校協会優秀賞、日本視能訓練士協会優秀賞、全国視能訓練士学校協会優秀賞、全国救急救命士教育施設協議会成績優秀者表彰、日本臨床工学技士会会長賞、日本臨床工学技士教育施設協議会代表理事賞、滋慶教育科学研究所審査員特別賞、滋慶教育科学研究所奨励賞、滋慶教育科学研究所努力賞、東京都歯科医師会長賞	3	
	3-11-1.2 目標とする資格は教育課程上、計画に位置付け、取得の指導体制はあるか。	3	各学科、資格合格に向けての対策授業を構築している。 学園全体としても国家試験対策センターを設置し、国家試験対策研修会、勉強会を実施している。	【滋慶学園 国家試験対策センター】 大阪本部に設置。グループ校の全学科の国家試験結果の分析、傾向の把握、模擬試験運営等を担う。	3	
	3-12-1.2,3 資格・要件を備えた教員を確保し、教員の資質向上の取組みを行なっているか。	2	採用については、学校と本部と情報共有しながら実施しているが、規定通りの教員を確保できていない学科もある。 滋慶教育科学研究所(JESC)を中心にFD活動を支援する多くの研修があり、資質向上を目指している。	【職員研修】 担任研修／カウンセリング研修／新入職研修／新入職フォローアップ研修／トレーナー研修／OJT研修／国家試験研修／FD研修／マネジメント研修／滋慶教育科学学会など。 【滋慶教育科学研究所(JESC)】 滋慶学園グループ全校の教職員の資質向上を目指した研究機関で学園全体の職員研修を実施している。	2.7	

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
4 教育成果	4-13-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	1	専門就職率は97%と高い水準を満たしているが、就職率は91%と前年比-2%。採用試験不合格者の増加。と国家試験後就職活動者への支援の遅れ。 分散登校、オンライン授対応した就職支援を早期に実施したが、一人ひとりに即した支援が行き届かなかった。	特に実習で学内登校の少ない学科については、定期的な面談の実施とオンラインを活用した就職支援を効率的に出来る体制を整える。 国家試験のある学科については早期に就職に対する動機づけ(就職授業等)を行い、年内に内定を決めていく。	1.4	コロナ禍ということもあり、厳しい状況であり、また受け入れ企業も渋い状態が続いていると思われるが何とか成果を脱せるよう尽力をお願いしたい。
	4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	2	国家資格によっても平均合格率が異なっていたり、難易度も異なるため、学科ごとに5か年での目標を設定している。 学科によって100%の学科もあるが、全学科で100%を達成するには課題がある。	【2021年度 国家試験結果(合格率)】 言語聴覚士科:77.31% 言語聴覚士科2年制:84.4% 視能訓練士科:100% 視能訓練士科1年制:87.0% 臨床工学技士科:100% 救急救命士科:86.7% 歯科衛生士科Ⅰ部:100% 歯科衛生士科Ⅱ部:94.1%	1.9	資格不合格者への対応も良くてきている。 専門学校の就職率は大変重要な指標です。支援強化を検討いただければと思う。
	4-15-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生についてはキャリアセンターが中心となり、業界訪問時や就業状況調査アンケート等を通じ状況の把握をしている。 在校生は担任による指導、面談の中で学校内外での活動に関し、支援体制を取っている。	【卒業生・在校生の活躍】 ・日本医療秘書学会学術大会(医療秘書科在校生) ・日本臨床眼科学会(在校生) ・isee!ワーキングアワード2021 受賞(在校生) ・視能訓練士協会教育プログラム技術指導(卒業生) ・第5回アジア臨床工学フォーラム(在校生) ・日本臨床救急医学会(卒業生)	2.6	

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1	自己点検・自己評価項目総括			
5 学生 支援	5-16-1 就職に関する体制は整備されているか	3	職種ごとに就職活動時期のピークが異なる為、その時期に合わせ就職行事を設定し、就職支援を実施している。 また、学校独自の就職活動マニュアル、自己分析シートを作成し、全学生に配布し就職活動で活用できるよう支援している。	学科ごとの就職会議を月一度実施、学生就職状況表を基に、学生一人ひとりの状況に合わせた就職支援を実施。(オンラインの活用) 就職行事は、学科により実施する時期のずれが生じるため、学科スケジュールにあわせた活動に変更する。 企業系は今年に引き続きオンラインを使用した採用計画を立てている企業が多く、学生に対する就職支援もオンラインに対応しう工夫が必要。	2.7	
	5-17-1 退学率低減の為の取組みを行なっているか。	2	前年度の退学者の傾向を分析し、対策を立てたうえで、年度当初に学科ごとの退学目標数字を決定している。 また、年度中間期と年度の終わりには、卒業進級判定会議資料として進級者名簿・数と退学者名簿・数、退学時期、退学問題分類・詳細、その結果を受けた学科総括と対策案を書類として作成している。	2021年度もコロナの影響を受け、精神的や経済的に厳しい学生が退学となった。退学理由は多様化・複合化している。 1年生の退学が多かったが、近年の傾向として2年生や卒業学年、また社会人向け学科でも退学が増加している。 ・退学率 2021年度:4.5% 2020年度:4.4% 2019年度:4.8% 2018年度:4.5%	2.3	
	5-18-1.2 留学生支援も含め、学生相談に関する体制を整備しているか。	2	留学生に関しては、法人に設置の留学生支援センターと連携し、入国管理局への在留資格の取得や更新の手続きを学生サービスセンターが行い、資格外活動の管理や生活・言葉の不安に対する対応を在籍学科教員を中心に行っている。 日本人学生も含めて、精神面・健康面・学費などの相談を受入れる体制を整備している。	コロナ禍で留学生の入学者は激減しており、しばらくこの傾向が継続することから、留学生の多い学科は別の顧客に合わせた教育・広報の構築が必要となる。	2.3	様々な支援体制を取られて工夫されていると思われる。ただ、最終的には人と人の繋がりが重要だと思われるので、直接的関わりをより大切にしてもらいたい。 離職理由等を企業側とも共有していければ、より離職率低減につながると思われる。
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	法人の教育・研修を受けたフィナンシャルアドバイザーが常駐し、入学から卒業までの学費相談を行っている。 国の高等教育における修学支援新制度が開始となり、本校もその確認校として授業料等の減免を実施した。	分割納付希望者には保護者を交えた学費面談を行い、制度の理解を得られるよう務め未納対策としている。 上記対策の徹底により学費回収率100%を達成した。	2.9	歯科衛生士科Ⅱ部を無くさない方が良かったと思う。
	5-19-2, 3 学生の健康管理や、学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。	3	学園が運営する「慶生会クリニック」「滋慶トータルサポートセンター」が学生の身体と心の健康管理をしている。毎年春に実施する健康診断で再検査対象者には、慶生会クリニックにて再検査も実施している。 学園本部では学生寮の運営もしており、寮生については寮長と担任が情報交換、情報共有をしている。	【健康診断受診率】2021年度:100% 【医療法人社団 慶生会クリニック】 東京・大阪・福岡で学園グループが運営するクリニックで、一般診療以外に在校生の内科・歯科の診療を担当している。 【ジケイ・スペース株式会社】 校舎のメンテナンスおよび滋慶学園グループ校専用の学生寮を運営している。	2.9	経済的な理由での退学がふえていたかと思いましたが大きな変動がなく先生方の努力がみられる。引き続き適切な支援をお願いしたい。 保護者との連携強化は大変重要な取り組みだと思う。
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	学生プレスという組織でオープンキャンパス等で在校生の姿や声を参加者に直接届けるスタッフとして活動している。また言語聴覚士科では手話や音楽活動を行っています。	約130名が学生プレスとして活動している。 2021年度も福祉施設等で演奏会を予定したがコロナで中止。	2.3	オンライン活用の教育は更に充実できるようにお願いしたい。
	5-20-1 保護者と適切に連携しているか。	3	多様な開催方法の検討実施。 オンライン配信 (リアルタイム型) オンデマンド型配信 (録画配信型)など 感染状況が厳しい環境下においてもスマホアプリ(Lineなど)を活用し保護者面談・3者面談を実施した。	近年では、入学式、卒業式への保護者の出席率が高まっており、専門学校生とはいえ、保護者の学校情報の開示ニーズは高まっている。2021年度はできるだけオンラインで対応した。	2.9	定員割れ状態の科もあるがコロナ禍で生徒を集めるのは苦労があると思う。コロナが落ちつく、又は緩和された時の対応が重要と考える。(外国人入学希望者)
	5-21-1 卒業生への支援体制はあるか	3	卒業時に卒業教育プログラムの内容とスケジュールを明示し積極的な参加を促し、卒業後にも学習や研究ができる場の提供をしている。また、資格不合格者には、卒業後も合格まで補習等を無償でサポートしている。2021年度もコロナの影響もあり、同窓会等の行事は中止。	再受験支援(リスタート) ①インターネットを介した通信教育 ②学校での国家試験対策授業	2.7	
5-21-3 社会人経験者のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	学則にて入学前の履修の単位認定について定めている。修業年限を配慮した大卒等を入学要件とした学科を設置している。 本校は学生の約3割が社会人経験者であり、既卒者向けの体制は確立されている。	2021年度の実態 社会人対象 開講学科 視能訓練士科1年制(土日祝) 言語聴覚士科2年制(夜間部) 歯科衛生士科Ⅱ部(夜間部)	2.9		

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
6 教育環境	6-22-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	国家資格系の養成施設として認可を受けており、施設・設備の設置状況に問題は無い。実習室に設置されている機器は、現場で多く使用されているものを取り入れている。	ICT教育に対応するため全教室にIT教卓・プロジェクターを設置し、講義が行いやすい環境を整えた。またMicrosoft TeamsやZoom、Moodleなどのオンラインでのツールも導入した。普通教室のパイプ椅子を廃止し学習に適した椅子を導入。	2.9	
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	コロナ禍において、2021年度は、海外研修中止。代替プログラムの国内国際性講座では、学科ごとに特色ある研修先を選定している。これまでは、各分野における先進国という観点で渡航・研修先を決定しているが、日本自体が先進国であるという例も多い。オンラインで、どこまで体験させられるかが課題である。	時差の問題などもあるが、今後は海外の提携先とのオンラインでの研修実施を検討していく。	2.7	
	6-24-1.2 防災に対する体制と学内における安全管理体制が整備されているか。	3	防災マニュアルを整備し、毎年防災訓練を行っている。また、管理会社も訓練に参加し、訓練内容の評価をして継続的な改善に役立っている。防災・防火に関する点検は法令に基づき実施をしている。緊急地震速報システムの設置、学生・教職員に対する安否確認システムを導入している。	学園として災害対策本部があり、非常時には情報、連絡、支援などスケールメリットを活用している。また、大型地震が発生した場合、本校は津波に対しても警戒せねばならず、各教室に津波が起こった際、どの教室に行くのかを明確に指示掲示している。。2021年度も防災訓練は、コロナ禍のためクラス単位でオンライン等を活用した防災教育を実施して対応した。	2.9	
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校に対し教育活動等の情報提供を行なっているか。	3	在校生・卒業生の状況は高校訪問・進学説明会にて逐一伝えている。遠方の高等学校に向けては、youtubeをはじめとしたオンライン上での体験授業・説明会で情報を得られる工夫をしている。電話やメール、ZOOM・SNSを用いて問い合わせに回答している。2021年も高校教員向けのオンライン相談会を企画した。		3	学生に学校選択の理由を尋ねると、高校の先生からの推薦やオープンキャンパスに参加して、という意見が大多数である。引き続き高等学校との連携を確立していくことが、より重要だと思われる。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行なっているか。	3	本校は東京都専修学校各種学校協会に加盟し、同協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。個人情報の管理についてはWEB上で管理しており、厳重に管理している。 オープンキャンパスは毎週実施しており、時期ごとに志願者の趣向にあわせた内容で実施している。	志願者からの問い合わせに混乱なく迅速に対応するために専用の連絡先を設置している。通常の体験授業以外にも志願者の趣向にあわせたオープンキャンパスを実施している。(社会人対象・平日個別相談・夜間授業見学・学費相談説明会など)2020年よりオンライン上での説明会も開始している。	3	
	7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行い、選考に関する実績の把握ができていますか。	3	入学選考に関しては、基準を募集要項に明示している。合否の判定に関しては学校長・事務局長・教務部長・広報センター長・学科長により構成される「選考会議」にて合否を確定する。面接・書類内容・選考試験が実施されている場合、その結果をふまえて総合的に判断している。	【2022年度入学生の入試ごとの入学状況】 広報確認 A O 入 試 : 302名 高校推薦入試 : 27名 一般入 試 : 115名	3	
	7-27-1.2 学納金は適正なものとなっており、入学辞退者に対し適正な取扱いを行なっているか。	3	学納金は適正かつ妥当なものと考えている。入学辞退者に対して、3月31日までの申告者には入学金以外は全て返金している。	募集要項に教材・テキスト含め必要な学納金を入学初年度と在籍年数全体の金額として提示している。	2.9	

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
8 財務	8-28-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	5カ年を見通した事業計画と共に収支予算計画も作成しており、財務基盤の安定に努めている。	新校舎建築、新学科設立に伴う職員の採用などで収支差益はいったん下がるが、新学科の全学年の学生は揃うと、今よりも収支差益は向上する計画であり、財務基盤はますます安定する。	2.7	
	8-29-1.2 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定し適正に執行管理を行なっているか。	3	教育目標と整合性を図り、5カ年の収支予算を作成している。作成した収支予算は学園本部とも協議をし見直しを行い、必要に応じて年度途中でも理事会の承認を得た上で修正をしている。	単年度予算については、より詳細に部署別に落とし込んで作成をしている。執行状況は毎月行う運営会議で確認し、教育目標と照らし合わせ、予算超過が見込まれる場合にはその場で対策を講じている。	2.7	
	8-30-1 財務について会計監査が適正に行われているか	3	公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会および評議員会においてその報告をしている。	私立学校法上、義務付けられている「監事における監査」を受けているが、それに加えて、「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。	2.9	
	8-31-1 財務情報公開の体制整備はできているか	3	私立学校法に基づく財務情報公開体制が整備されている。外部関係では寄付行為の変更認可及び行政への届出、そして内部関係では財務情報公開規程および情報公開マニュアルを整備し、財務情報公開をしている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、情報公開に対処している。HPに財務情報公開済み。	2.9	
9 法令等の遵守	9-32-2 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	法令遵守を学園の方針に掲げており、教職員全員でその方針を理解し実行に努めている。法人理事会の基に、コンプライアンス委員会を設け、学校運営が適正であるかどうか判断をしている。	半数以上が国家資格系学科であり、教職員の法令遵守の意識は高い。学校責任者および申請担当者に向けて学園のコンプライアンス委員会から情報発信を行い、必要に応じて研修実施や業務支援をしている。	3	法令遵守のWEBでのテストは大変に良い。参考にさせていただきたい。 2022. 4. 1に個人情報語法の改定がありましたのでご確認ください。
	9-33-1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	就業規則に個人情報保護を明記するとともに、教職員に対し研修を実施している。学園の中に「個人情報保護委員会統括事務局」を置き、個人情報保護管理体制の継続的改善に取り組んでいる。	外部機構の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年ライセンスを更新している。また、個人情報保護に関しては全職員が認定CPAアカデミック資格を取得し毎年更新研修を受講している。	3	
	9-34-1.2 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努め、その結果を公表しているか。	3	自己点検は平成15年度より毎年実施しており、その点検を学校関係者に評価していただいている。	自己点検・自己評価を実施する中で見えてきた改善項目は学校責任者を中心に関係部署リーダーにて対策を検討している。評価結果は学校関係者保護委員会にて更に評価を得た後に、HP上に公開をしている。	3	
	9-34-3.4 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価結果を公表しているか。	3	学校関係者評価委員会を実施し、自己点検・自己評価の報告をし、更に評価を行っている。評価結果についてはHPにて情報公開を行っている。	※特記事項は特に無し。	3	
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行なっているか。	3	職業実践専門課程の認定を受け、HPで教育内容の情報公開を行っている。教育行事の取り組みは学校・学科ブログ等でも情報の公開を積極的にしている。	※特記事項は特に無し。	3	

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2022年5月22日実施】

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	本校では学校の存在価値として4つの信頼を掲げている。その中に地域からの信頼を掲げ、社会貢献、地域貢献に積極的に取り組み、地域の方々からの信頼を得られる事を行動の指針としている。	【具体的な取り組み例】 1)言語聴覚士科 就学前の言葉の発達に問題を抱える幼児を対象として、言葉の発達の支援を実践している。 2)歯科衛生士科 江戸川区歯科医師会と共同し小学校の歯磨き指導を行なっている。 3)救急救命士科 救命救急講習やAED講習等行っている。また、在校生が仲町消防団に入団し、地域貢献活動を行っている。	2.9	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動への取り組みについては、学生にとっても大変貴重な経験となり、先々で必ず生きてくると思われる。 コロナ禍ということもあり難しい状況ではあるが、ぜひ今後も継続的に積極的に取り組んでもらいたい。
	10-36-2 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	3	本校は建学の理念の一つとして「国際教育」を掲げている。海外研修はこの理念に基づく教育実践の場になっている。各学科の特長特色に合わせて海外研修先を選定し、1週間程度のプログラムで実施している。 ※2021年度は、コロナ禍の影響で中止。	6-23-1と同様。	2.4	薬局で行われている地域貢献なども参加してはどうでしょうか？ 地域向けの講習会等大変すばらしい活動だと思う。学生にも良い勉強になるし、今後も継続していただきたい。
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し活動支援を行なっているか。	2	ボランティア活動は積極的に推奨しているが、実態を把握しきれてはいない。今後、学生のボランティア活動結果を学内で共有する仕組みが必要だと感じる。 ※2021年度はコロナにより実施せず。	【ボランティア実績】 ・失語症友の会(言語聴覚士科) ・葛西地区お祭り防災ブース(救急救命士科) ・フッ素塗布事業運営補助(歯科衛生士科) など	2.4	コロナ禍で最大限の取り組みを行っていると思う。